

プライバシーポリシー

公益財団法人木村看護教育振興財団（以下「本財団」といいます。）は、本財団の事業に関わる協力者及び参加者並びに本財団の役職員等（以下「利用者」といいます。）の個人情報の取扱いについて、以下のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報保護の仕組みを構築し、全役職員に個人情報保護の重要性を認識させるとともにその取組みを徹底させることにより、個人情報の保護を推進します。

第1条（個人情報）

「個人情報」とは、個人情報の保護に関する法律（平成十五年法律第五十七号、以下「個人情報保護法」といいます。）にいう「個人情報」を指し、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別できるもの又は個人識別符号が含まれるものを指します。

第2条（個人情報の取得と利用）

本財団は、以下の目的に必要な範囲で、利用者の個人情報を取得し、取得した情報を利用させていただきます。以下の目的の範囲を超えて個人情報を利用する場合には、事前に適切な方法で利用者からの同意を得るものとします。

- (1) 本財団の講演会事業等のイベント情報・各種お知らせ等を配信・送付するため
- (2) 本財団の刊行物希望有無アンケート等を実施するため
- (3) 重要なお知らせなど必要に応じたご連絡のため
- (4) 本財団の事業に関する利用者からのご意見、お問い合わせ等に回答するため（本人確認を行うことを含む）
- (5) 利用者の承諾・申し込みに基づく、海外看護研修の協力施設等への個人情報の提供
- (6) 各種助成事業における公募・選考のため
- (7) 役職員の労務管理、人事管理、福利厚生、健康管理、その他法令又は規程に基づく業務遂行のため

第3条（個人情報の管理と保護）

個人情報の管理は、厳重に行うこととし、次に掲げる場合を除き、利用者の同意がない限り、第三者に対しデータを開示・提供することはいたしません。また、安全性を考慮し、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等のリスクに対する予防並びに是正に関する対策を講じます。

- (1) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、利用者の同意を得ることが困難である場合
- (2) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、利用者の同意を得ることが困難である場合

- (3) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合
- (4) 業務を円滑に遂行するため、利用目的の達成に必要な範囲内において個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合
- (5) 合併その他の事由による事業の承継に伴って個人情報が提供される場合
- (6) 個人情報を特定の者との間で共同して利用する場合であって、その旨並びに共同して利用される個人情報の項目、共同して利用する者の範囲、利用する者の利用目的及び当該個人情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称について、あらかじめ利用者に通知し、又は利用者が容易に知り得る状態に置いた場合
- (7) その他法令で認められる場合

第4条（個人情報の取扱いの委託）

本財団は、利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合がございます。この場合、本財団は、委託先としての適格性を十分審査するとともに、契約にあたって守秘義務に関する事項等を定め、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。

第5条（個人情報の開示）

本財団は、利用者（本人に限る。本条において以下同じ）から個人情報の開示を求められたときは、利用者に対し、遅滞なくこれを開示します。但し、開示することにより次のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を開示しないこともあり、開示しない決定をした場合には、その旨を遅滞なく通知します。

- (1) 利用者又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- (2) 本財団の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- (3) その他法令に違反することとなる場合

第6条（個人情報の訂正及び削除）

1. 本財団の保有する個人情報が誤った情報である場合には、本財団が定める手続きに従い個人情報の訂正又は削除を行います。
2. 本財団は、利用者から前項の請求を受けてその請求に応じる必要があると判断した場合には、遅滞なく、当該個人情報の訂正又は削除を行い、これを利用者に通知します。

第7条（個人情報の利用停止等）

本財団は、利用者から、以下の各号に定める場合に該当するとして、個人情報の利用の停止又は消去（以下「利用停止等」といいます。）を求められた場合には、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、法令に従って、個人情報の利用停止等を行い、その旨利用者に通知します。但し、個人情報の利用停止等に多額の費用を有する場合その他利用停止

等を行うことが困難な場合であって、利用者の権利利益を保護するために必要なこれに代わるべき措置をとれる場合は、この代替策を講じます。

- (1) 利用目的の範囲を超えて取り扱われている場合
- (2) 不正の手段により取得された個人情報である場合
- (3) 違法又は不当な行為を助長し、又は誘発するおそれがある方法により利用されている場合
- (4) 本財団が利用者の個人情報を利用する必要がなくなった場合
- (5) 要配慮個人情報が含まれる個人情報の漏えい、滅失若しくは毀損(以下「漏えい等」といいます。)が発生し、又は発生したおそれがある場合
- (6) 不正に利用されることにより財産的被害が生じるおそれがある個人情報の漏えい等が発生し、又は発生したおそれがある場合
- (7) 不正の目的をもって行われたおそれがある個人情報の漏えい等が発生し、又は発生したおそれがある場合
- (8) 個人情報にかかる本人の数が千人を超える漏えい等が発生し、又は発生したおそれがある場合
- (9) 当該個人情報の取扱いにより利用者の権利又は正当な利益が害されるおそれがある場合

第 8 条 (プライバシーポリシーの変更手続)

本財団は本ポリシーの内容を適宜見直し、その改善に努めます。本ポリシーの内容は、法令その他本ポリシーに別段の定めのある事項を除いて、変更することができるものとします。変更後のプライバシーポリシーは、本財団ウェブサイトに掲載したときから効力を生じるものとします。

第 9 条 (法令、規範の遵守)

本財団は、保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守します。

第 10 条 (苦情及び相談への対応)

本財団は、個人情報の取扱いに関する利用者からの苦情、相談を受け付け、適切かつ迅速に対応いたします。また、利用者からの当該個人情報の開示、訂正、追加、削除、利用又は提供の拒否などのご要望に対しても、迅速かつ適切に対応いたします。

第 11 条 (安全管理措置)

本財団が利用者よりお預かりした個人情報は、個人情報ファイルへのアクセス制限の実施、アクセスログの記録及び外部からの不正アクセス防止のためのセキュリティ対策の実施等、組織的、物理的、人的、技術的施策を講じることで個人情報への不正な侵入、個人情報の紛失、破壊、改ざん、及び漏えい等を防止いたします。万一、利用者の個人情報の漏えい等の事故が発生した場合、本財団は、個人情報保護法及び関連するガイドラインに則り、

速やかに監督官庁への報告を行うとともに、当該監督官庁の指示に従い、類似事案の発生防止措置及び再発防止措置等の必要な対応を行います。

第 12 条（本財団住所・代表者氏名・個人情報保護管理者）

本財団住所、代表者および個人情報保護管理者の氏名は以下のとおりです。

住所：東京都文京区本郷 5-25-14-8F

代表者：代表理事 木村 憲司

個人情報保護管理者：常務理事 倉本 弘

第 13 条（お問い合わせ窓口）

本財団の個人情報の取扱いに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

公益財団法人木村看護教育振興財団 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14-8F

TEL: 03-5800-2700

Mail: kimura-info@nurseed.jp

2022 年 8 月 30 日制定・施行